

東京外国為替市場委員会 第 202 回会合 議事録

開催日時 2017年6月21日 13:00～14:00
場 所 日本銀行本店
議 長 星野 昭
副 議 長 大西 知生
副 議 長 青山 宏明
書 記 重本 浩志
出 席 者 25名

I. 役員（副議長）の再任について

星野議長より、大西委員の副議長としての任期が満了することが報告されました。大西委員から、副議長に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

II. 役員を選任について

星野議長より、井上書記から退任の意思が示されたとの報告があり、了承されました。また、後任として、重本浩志氏（日本銀行）から委員および書記への立候補があったとの報告があり、全会一致で選任されました。

III. 新委員の選任について

星野議長より、以下の方々から委員への立候補があったとの報告があり、各候補者による所信表明と推薦人による推薦を経て投票が行われ、新委員に選任されました。

時田 剛 （BNP パリバ銀行）
狩野 弘一（シティグループ証券）
光定 建治（ゴールドマン・サックス証券）

IV. グローバル外為行動規範の本邦市場参加者への展開

星野議長より、金融先物取引業協会で説明会（6月16日）を開催した旨、報告があり、グローバル外為行動規範の対象として想定されている取引については、再度丁寧に説明していく必要があるとのフィードバックがありました。また、6月23日には全国地方銀行協会で説明会を予定しているとの説明がありました。

V. バイサイド小委員会開催報告

呉田バイサイド小委員長より、6月5日に開催されたバイサイド小委員会の模様について報告がありました。こちらについても、グローバル外為行動規範に対する遵守の意思表示は、組織として行うことが想定されている点等について、バイサイド参加者の理解を得ていく必要があるとの報告がありました。

VI. TKFE と JPNU の位置づけについて

宗川委員より、ロイター社は TKFE と JPNU について、一時点のレート（スナップショット）

に変更し、ベンチマークではないことを明確にする方向との報告がありました。これを受けて、東京市場としての対応を必要に応じ検討していくこととなりました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (6月21日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○星野 昭	(三菱東京UFJ銀行)
副議長・CoC小委員長	○大西 知生	(ドイツ証券)
副議長・市場調査小委員長	○青山 宏明	(みずほ銀行)
書記	○重本 浩志	(日本銀行)
運営小委員長	○山内 太朗	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソースジャパン)
法律問題小委員長	○松本 洋志	(三井住友信託銀行)
Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(パークレイズ銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
バイサイド小委員長	○呉田 真二	(三井住友銀行)
	○廣田 泰司	(JPモルガン・チェース銀行)
	○石川 昌信	(トキョウフレックス上田ハーロー)
	○宗川 雄視	(トムソン・ロイター・マーケット)
	○宮崎 誠	(CLS)
	好川 弘一	(スタンダードチャータード銀行)
	○岩崎 拓也	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○時田 剛	(BNPパリバ銀行)
	○狩野 弘一	(シティグループ証券)
	○光定 建治	(ゴールドマン・サックス証券)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○小柳 徳明	(三菱東京UFJ銀行)
○鈴木 智美	(ドイツ証券)
○藤平 武文	(みずほ銀行)
○川原 一真	(日本銀行)
○山本 浩司	(三井住友銀行)

<オブザーバー>

○原田 浩気	(財務省)
--------	-------

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。